

# The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

July  
ISSUE



July, 2020

Volume 104

## Message from the Vice Head of Schools

### 【新しい学校生活様式への準備】

6月から始まった、隔日登校も22日(月)からは、全員登校となり、学校にも活気が戻って参りました。そんな中、全員登校に備え、各教室の机の中央にアクリル板を設置し、飛沫防止の対策を取りました。また、登校の際の健康観察カードのチェックの徹底を児童・保護者の皆様をお願いをいたしました。政府からはCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)に対する感染拡大防止のために「新しい生活様式」の提唱がありましたが、学校においても「新しい学校生活様式」をご理解頂き、全員で取り組んでいくことが大切になります。登校前には必ず健康観察を行い、体温が平熱より0.5度以上高い場合や倦怠感・咳などの体調の異変が感じられる場合は、躊躇なくお休みください。今は無理をして学校に行くのではなく、学校を休むことが、「新しい学校生活様式」として推奨されています。

同志社国際学院初等部では、COVID-19の感染を予防しながら、いかに安全に通常の学校生活を送っていくか、これまでの感染予防対策を日常化させつつ、7月からはこれまで登校時各駅で実施していたバス乗車時の健康観察カードチェックを校門での集中チェックに移行します。保護者の皆様には健康観察の正確な実施と確認のサインを忘れずして頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

### 【2ヶ月遅れの入学式】

このような中、嬉しい行事もありました。1年生の入学式です。6月19日(金)1組、2組が午前午後に分かれて入学式を実施いたしました。式典は参加者を限定し、時間も短縮しての開催となりましたが、学校法人同志社から八田英二総長・理事長、同志社大学からは植木朝子学長らにお越しいただき、祝辞も頂戴いたしました。八田総長・理事長は、これから同志社に入って皆さんがよく聞く言葉として「新島襄」「志」「キリスト教」の3つの言葉を分かりやすくお話しされました。また、植木学長は、この春、学校に行けずに在宅学習をしていた少女が、自分の心の中でいろんなお話を想像し、楽しく自分一人の時間を過ごす方法を見つけたというお話をされ、お二人とも将来への希望や今をどう有意義に過ごすか、新入生にも分かりやすく語られました。また谷本校長からは、ご自身の小学校入学の際の写真を通しての思い出を基に、新入生の皆さんに小学校生活へのエールが送られました。

### 【7月は31日までが授業日です】

春学期の終了式は、当初の15日から2週間延長し、7月の31日(金)になります。休業中のオンライン授業とこの2週間の延長によって春学期に学ぶ内容は、ほぼカバーできることとなりますが、教科によっては秋学期に持ち越される内容も出て参ります。現在、各学年や各教科で学びの記録のクライテリアについて検討を重ねている最中です。オンライン学習で取り組んだ内容も学びの記録に何らかの形で反映されることとなります。

また、学期末に計画されている、希望者対象のカンファレンスにつきましては、オンラインで実施することといたしました。ご理解、ご協力の程よろしくお願ひいたします。こんな時勢ではありますが、新しい学校生活や学びについて有意義な振り返りの時を持ちたいと考えております。

副校長 城 恵市



同志社国際学院初等部  
〒619-0225 木津川市木津川台 7-31-1

Doshisha International Academy Elementary School  
7-31-1 Kizugawadai, Kizugawa City 619-0225

<http://www.dia.doshisha.ac.jp/>

## キリスト教教育

7月：平和 July：Peace

「天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように光り輝く命の水の川を私に見せた。」  
ヨハネの黙示録 22 章 1 節 (聖書協会共同訳)

生まれ故郷の大阪を離れた頃から、気が付くと私の住む傍らには、いつも川が流れていました。

最初は岡山県の新見市に住んでいた頃、近所を流れる「高梁川」の澄んだ水に驚き、晴れた日にはよく川底に泳ぐ小魚を眺めに行ったものでした。色々なことで心が乱れそうになった時でも、川の水を眺めていると心が落ち着きました。

仕事で「倉敷川」周辺にある教会に出入りしているうちに、やがて「石川」という姓の人と一緒にになり、相手の事情で共にドイツに住むことになりました。

ここでは5年間住んだミュンヘンの寮が「イザール川」の近くで、子どもが生まれてからもよく散歩に出かけ、川の水を眺めたり、足を浸したりしました。

帰国後、最初に住んだのは京都の薪という場所で「甘南備川」が近く、透き通った川面にはスーパーで見ると遥かに大きな野生のクレソンが密生していて、感嘆したものでした。

2年後に京都市内に引っ越し、現在の場所に落ち着きましたが、ここは「高野川」のすぐ近くで、「鴨川」へも歩いて行ける距離です。四季折々の美しい水鳥たちに癒されています。

私の川の旅もここが終着点かと思いきや、その後思いがけずイギリスのケンブリッジで「ケム川」の近くに1年間住む機会に恵まれました。この川は流れが非常にゆったりとしていて、どちらの方向に流れているのか、よくわからない、不思議な川でした。雨の日も風の日も、学生たちがカヌーの練習をしていたことを思い出します。

近頃はまた、高野川沿いに自転車を走らせて駅へと向かう毎日です。

ところでジョン・バニヤン (John Bunyan, 1628 - 1688) という人が書いた「天路歷程」(The Pilgrim's Progress) という小説は、神への信仰を持つようになった一人の人物が「滅びの町」から抜け出して、あらゆる艱難辛苦の末に最後は「天の都」へ凱旋するという人生の求道物語です。いよいよ「天の都」が間近に見え、もうすぐ到達できるという所で主人公を阻むのが、行く手に横たわる黒い川の存在でした。これは「死の川」と呼ばれているもので、向こうへ行くためには誰でも例外なくこの川を渡らねばなりません。しかしながらその渡り方は人それぞれで、たとえば家族を置いて一人で旅していた主人公の場合、途中で道連れになった信頼できる友と一緒に、時には溺れそうになりながらも無事に渡り終えました。子どもたちを連れて信頼できる友らと主人公の後を追った妻は、「天の都の王」の命により、子どもたちは友らに預けたまま、結局一人で川を渡っていかねばなりません。けれどもそこがたまたま浅瀬だったので、夫の時よりはずっと軽やかな楽しい気持ちで、彼女は歌さえ口ずさみつつ川を渡って行ったのでした。

この世とあの世の間に川が横たわっている、という考え方は、古今東西にあるようです。しかしながら、聖書で福音(よい知らせ)が述べ伝えられる時の「川」は、おどろおどろしいものではなく、人間を愛してやまない方からこんこんと湧き出る清い流れです。

最近、恩師のお連れ合いが天に召された、とのお知らせを受けました。いつか水晶のように光り輝く川の傍でお会いできる日を夢見ながら、今は自分の傍に流れている地上の川から元気をもらって、日々与えられた分を生きていきたいと思います。

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

<参考図書>

絵本「危険な旅：天路歷程物語」ジョン・バニヤン作、中村妙子訳；新教出版社



## 新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる対応について

### 同志社国際学院初等部の対応 4

◇ ご家族で発熱など体調不良の方が出た場合についての対応

7月号の保健便りに掲載されました通り、**ご家族で発熱などの風邪症状が見られる場合は、登校を控え「Stay Home」のご協力をお願いいたします。**

このような様々な取組を行うのは、お子様をはじめとして、D I Aに関わる皆様の健康を最優先に考えると共に、感染があった場合、その影響が最小限で収まるようにするためです。そこで、ご家庭の皆様にも引き続きご協力頂きたいこと及び登校判断について確認頂きたいことがいくつかあります。

まず、お願いするのが、毎朝の検温と健康チェック及び、確認サイン（印鑑）です。そして、体温が**平熱より0.5度以上高いとき**や**37.5度**を越えているとき、または、健康観察の①～⑥の項目で該当するものがありましたら学校に来させることなくご自宅で安静にお過ごしください。上述したように**ご家族で発熱などの風邪症状が見られる場合**も登校を控え「Stay Home」のご協力をお願いいたします。

もし、校門チェックで健康観察カード内の①～⑥の項目に一つでも該当する項目がありましたら、入校して頂くことができず、すぐお迎えに来ていただくこととなります。朝の健康チェックで何かありましたらくれぐれも無理をして登校しないよう重ねてお願いいたします。（欠席扱いにはなりません）

緊急事態宣言が解除され、移動制限も緩和されましたが、ここに来て、感染者数が徐々に増えてきています。皆様方におかれましては、ご自身の健康に十分ご留意いただくと共に外出を控え、他者との接触を極力なくすよう、引き続き取り組んでいただきますようお願いいたします。

保護者の皆様へ

### 新型コロナウイルス感染症対策

～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

- 1 毎日の健康観察
  - ・毎日、登校前にお子様健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
  - ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
  - ・感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。

- 2 手洗いの励行
  - ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
  - ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）



文科省「新しい生活様式」を踏まえた御家庭での取組について（協力をお願い）。

## 7月の主な行事・予定

1	水	
2	木	
3	金	
4	土	第2回オンライン学校説明会
5	日	
6	月	
7	火	5年生オンライン推薦進学説明会
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	編転入試験
12	日	
13	月	
14	火	6年生推薦進学個人懇談 (zoom)
15	水	6年生推薦進学個人懇談 (zoom)
16	木	6年生推薦進学個人懇談 (zoom)
17	金	6年生推薦進学個人懇談 (zoom)
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	海の日
24	金	スポーツの日
25	土	
26	日	
27	月	午前授業 学期末カンファレンス(希望者)
28	火	午前授業 学期末カンファレンス(希望者)
29	水	午前授業 学期末カンファレンス(希望者)
30	木	午前授業
31	金	午前授業 春学期終業礼拝

## 8月の主な行事・予定とお知らせ

8月26日(水) 秋学期始業礼拝

既にご案内いたしましたとおり、春学期の終了日を15日から31日に延長いたします。夏休みは8月1日から25日までとし、26日(水)に秋学期をスタートいたします。

また、6年生のアメリカへの修学旅行は残念ながら中止となりました。さらに、今年度のきずな祭につきましてもその内容及び準備などを考えると開催は難しいと判断いたしました。他の行事につきましては、今後の状況を見て追ってお知らせいたします。